

令和6年度 事業報告概要

(保育所型認定こども園 旭ヶ丘保育園)

幼稚園部定員15名 保育部定員160名

1. 施設利用状況等

4月当初は2号3号認定（保育部）は136名からのスタートとなりました。今年度は昨年度と比べ、引越しや転勤等の家庭の都合による中途退所は少なかったのですが、年度当初の0歳児の入所が定員15名のところ7名からのスタートで、0歳児は11月には定員に達しましたが、他の年齢含めて全体的には少子化の煽りを感じる一年となりました。保育部は年度末には次年度の定員減申請のことがありましたので、143名の利用となっています。

また、幼稚園部の1号認定は、途中入所での1号認定児の入園や保育部から幼稚園部への認定移動もあり、定員15名に対して17名の利用となりました。

保育部および幼稚園部合計では、定員計175名に対して160名の利用となりました。令和7年度は令和7年3月に少子化等の理由で申請した保育部の定員減申請により7月より20名減員され、保育部は140名の定員となる予定です。今後も保育士の体制を整え、働きやすい職場環境を創造しつつ、柔軟に園児の受入を行い、地域の役に立つ保育施設として引き続き運営を行って参ります。

2. 施設整備事業等

今年度の施設整備事業については大きな設備工事は行いませんでしたが、新園舎が開園してから丸7年が経過しており、経年劣化による機器の部品交換作業が一部ありました。

3. 施設内・外研修等

昨年同様に札幌市や札幌市私立保育連盟等の職員研修については年間研修計画に基づいて参加し、それぞれが知識を得て専門性を高め、日々の保育実践に活かしてきました。また会議等での研修報告を通じて研修で学んだことを、受講した職員が他の職員に浸透させ、保育スキルと組織力の底上げを行ってきました。なお研修の参加は、会場参加、Web参加等感染予防を考慮して参加しました。その他保育に係る園内研修も実施しました。

4. 各種委員会等

各行事に対する係について、事業計画に基づいて年度当初に職員を割り当て、スムーズに各行事が行えるようにしてきました。また各会議においては事前に主任以上の職員で事前打合せをして、各議題について十分議論をし、中堅以上が意思統一をした上で会議を行ってきました。

5. 地域貢献活動等

公益活動等については、就学児と近隣の小学校との接続に関する連携について、当園の年長児が小学校に訪問をして連携を図りました。その他例年同様に地域の育児相談の受付を行っています。また町内会主催の地域の清掃については例年同様に参加し、その他昨年に引き続き、町内会の交通パトロールの協力も行っています。